

# ◎平成30年度 東京防災学習セミナー(発展編)

(～要配慮者・避難行動要支援者への対応～)

南街・桜が丘地域防災協議会 本部

平成30年11月25日

11月25日に、東京都総務局総合防災部防災管理課 及び当防災協議会が主催する、首記セミナーが開催されました。3連休最終日の影響もあり20名弱の参加となりました。やや少人数ではありましたが、グループディスカッションによる避難所の対応方針及び質疑応答も含めた有意義で熱心な学習会となりました。

講師;三平様



イオタ;加藤様

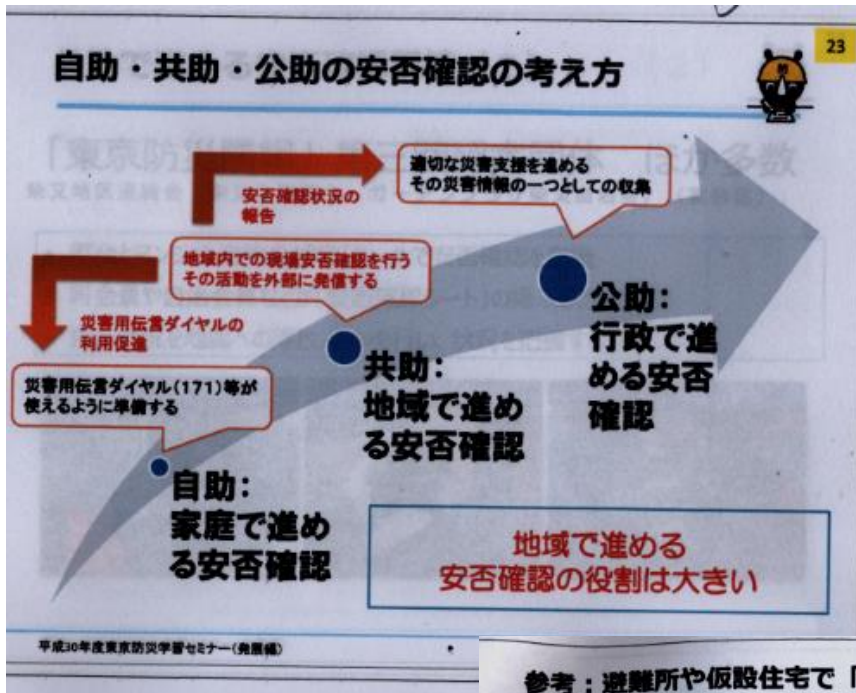


**聴講の皆様**



**グループ代表者の発表状況**





### 本日の講演のまとめ部分

### 参考：避難所や仮設住宅で「生活再建」を求める声

- ・ 災害発生後に身の安全が確保されたからといって「被災」が終わるわけではありません。
- ・ その瞬間から、自らや家族の「生活」を取り戻し、会社や事業を再建する道のりが始まります。
- ・ 東日本大震災や熊本地震の被災地においても、身の安全や安否が確認された直後から、未曾有の生活や事業の再建に関する悩みが溢れました。

**要配慮者の方こそ、必要な『支援情報』『生活再建情報』に辿りつけぬ可能性が非常に高いのです**

岡本正「災害復興法学Ⅱ」(2018年 慶應義塾大学出版会)参照

## まとめ

**いのちにつながる二つのフェーズの問題**  
災害発生直後の「災害直接死」だけでなく、避難生活期の「災害関連死」にも配慮した対策が重要です

**自主防災で進める要配慮者対策は相互の協力で**  
地域の中には様々な配慮が必要な人がいます  
しかし、一方通行で「支援を行う」方ではありません  
安否確認訓練のように地域全体の活動の中に要配慮者の方との接点を作っていく方法があります

**要配慮者対策は非常に専門性が高い分野**  
民生委員や地域包括支援センターなど専門団体と対応を検討  
法律面の理解も重要です

平成30年度東京防災学習セミナー(発展編)

平成30年度 東京防災学習セミナー（発展編）

テーマ：G

# 要配慮者・避難行動要支援者への対策

平成30年度東京防災学習セミナー（発展編）

（補論）  
余震発生下での在宅避難は可能なのか？

熊本地震でのマンション入居者の行動  
- 益城町営住宅（4階建て）  
- 全員が公営や公団に避難  
- 熊本市5階建てマンションから5階へ避難

序章：過去の災害で  
災害時に配慮が必要な人たちに起きたこと

全世帯が被災する中では、指定避難所も含めた  
車中や空家等での一時的な避難生活は想定しておく必要がある

平成30年度東京防災学習セミナー（発展編）

本日の講義内容

- ・ 序章  
過去の災害で災害時に配慮が必要な人たちに起きたこと
- ・ 1章  
避難行動要支援者名簿の理解と活用
- ・ 2章  
共助で進める安否確認訓練
- ・ 3章  
専門団体と協働した要配慮者支援対策
- ・ 4章  
「自主防災」による要配慮者支援とは

平成30年度東京防災学習セミナー（発展編）

1995年の阪神・淡路大震災の年齢別死亡率

年齢	東灘区	灘区	長田区	須磨区	兵庫区	中央区
四才以下	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
五～九才	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
十～十四才	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
十五～十九才	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
二十～二十四才	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6
二十五～二十九才	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7
三十～三十四才	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
三十五～三十九才	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9
四十～四十四才	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
四十五～四十九才	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1
五十～五十四才	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
五十五～五十九才	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3
六〇～六十四才	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4
六五～六十九才	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
七〇～七十四才	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6
七五才以上	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7

（平成2年国勢調査：5才分平行移動）

平成30年度東京防災学習セミナー（発展編）

平成30年度東京防災学習セミナー(発展編)

# 開催のお知らせ

**参加  
無料**



ぜひ「東京防災」<sup>※</sup>を持って  
ご参加ください



～要配慮者・避難行動要支援者への対策～

日時: 2018年11月25日(日) 14:00～15:30

場所: 南街公民館(東大和市南街5-32)

講師: 三平 洵 (株式会社イオタ 代表取締役)


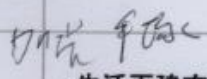
※講師は予告なく変更になる場合がございます。予めご了承ください。

**【プロフィール】**

2008年-2009年 東京工業大学グローバルCOE 研究員(RA)  
2009年-2012年 株式会社イオタ 取締役  
2017年 福島大学つくしまふくしま未来支援センター客員研究員

2007年-2009年 東京工科大学 非常勤講師  
2012年-現在 株式会社イオタ 代表取締役

## プログラム

開会	・会の進行説明
 要配慮者・ 避難行動要支援者 への対策(70分)	・講師による講義 災害時に要配慮者及び避難行動要支援者にどのような問題が起きるのか、また、その問題に対して防災市民組織や町会・自治会などができることは何かなどを、参加者を交えて考えていきます。  ・質疑応答、意見交換 講師を交えて、質疑応答や意見交換を行いません。 参加者の皆様と共に、「今後の地域防災対策のきっかけ」となる場を設けます。
東京防災紹介 (20分)	 ・生活再建支援制度、日常生活支援制度の紹介

※「東京防災」とは？

各家庭において、首都直下地震等のさまざまな災害に対する備えが万全となるよう、一家に一冊常備され、日常的に活用できる完全東京仕様の防災ブックです。各家庭に配布。現在は1冊140円(税込)で販売、電子書籍の取扱いもあり。詳細は、<http://www.bousai.metro.tokyo.jp/1002147/>をご覧ください。

【運営・お問い合わせ】株式会社イオタ(東京都受託業者) 電話: 03-3523-1900

[ 主催 ]

南街・桜が丘地域防災協議会  
東京都総務局総合防災部防災管理課